

目標達成計画

作成日: 令和3年6月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化・看護看取りに関する体制整備について看取りが出来ない主治医があり終末期は殆ど医療機関へ搬送となっている。	主治医以外の協力して下さる病院がある為病院とグループホームで共有でき看取りが事業所内で実施出来る体制を整備する。重度化し共同生活が困難なご利用者への対応を確立する。	看取りを希望されるご利用者ご家族の意向を確認し事業所の方針を説明し理解を得る。また看取りについて協力機関と連携をとりハード面ソフト面の環境を整備する。共同生活が困難になってこられたご利用者の対応方法を部署内で検討し施設の方針を確立する。	12ヶ月
2	35	同一敷地内の施設全体の協力体制構築が出来ていない。	避難場所、方法、全スタッフ共有できる。	災害備蓄品や防災グッズ消防立ち合いの訓練で年2回の避難訓練の実施の際単独で実施するのではなく同敷地内訓練、を提案する。	12ヶ月
3	64	馴染みの方々との関係が希薄になってきている。	リモートを主とした家族の交流を活発化することが出来る。	リモートでの交流 電話等状況に応じた支援交流を行う。面会が出来ない事で家族様の心情や不安をお互いに共有を行って少しでも不安解消を行う。	12ヶ月
4	2	新型コロナウイルス感染拡大防止の運営推進会議や地域行事等への参加が出来ていない。	年間通じての交流が新型コロナウイルスの為行事参加が出来ていないがコロナ下の環境で何が出来るかを考慮しつつ交流を図っていくことが出来るようになる。	新型コロナウイルスの感染状況や行政からの情報を考慮し行ける場所 地域のイベント感染予防を図りながら外出できるようにする。家族様にも予防を考慮した活動を行っていけるように説明していく。	12ヶ月
5	52	居室や食堂 リビング等安全で清潔感のある居心地良い空間を作っていく。	新型コロナウイルス感染 予防を考慮した清潔保持の強化	定期的 定時での清掃各場所利用者様と一緒に各個別の能力を考慮しながら環境作り行なっていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。